聖霊降臨後第９主日特祷（特定 14）

全能の父なる神よ、あなたの御心は愛する御子にあって、この世界を癒し、平和を実現することにあります。どうか国々の政治に責任を持つ人々の心を治め、罪の力によって分かれ争う世界が、正義といつくしみに満ちた神の支配にこそ従うことができますように。主は聖霊の交わりのうちにあなたと一体であって、世々に生きすべてを治めておられます。

アーメン

旧約聖書　創世記１５章１－６節

15:1　これらのことの後、主の言葉が幻の中でアブラムに臨んだ。「恐れるな、アブラムよ。私はあなたの盾である。あなたの受ける報いは非常に大きい。」2　アブラムは言った。「主なる神よ。私に何をくださるというのですか。私には子どもがいませんのに。家の跡継ぎはダマスコのエリエゼルです。」3　アブラムは続けて言った。「あなたは私に子孫を与えてくださいませんでした。ですから家の僕が跡を継ぐのです。」4　すると、主の言葉が彼に臨んだ。「その者があなたの跡を継ぐのではなく、あなた自身から生まれる者が跡を継ぐ。」5　主はアブラムを外に連れ出して言われた。「天を見上げて、星を数えることができるなら、数えてみなさい。」そして言われた。「あなたの子孫はこのようになる。」6　アブラムは主を信じた。主はそれを彼の義と認められた。

詩　編　第３３編１２－２２節

12　幸いな者、主を神とする国民‖　主がご自分のものとして選んだ民
13　主は天から見つめ‖　すべての人の子らを御覧になった
14　座しておられる住まいから‖　地に住むすべての者に目を注がれた
15　彼らの心をあまねく造られる方‖　その行いをすべて見分けられる方
16　王は軍勢の大きさによって救われるのではない‖　勇者は力の大きさによって助け出されるのではない
17　馬は勝利に頼みとはならない‖　力の大きさでは人を救い出せない
18　見よ、主の目は主を畏れる人に‖　主の慈しみを待ち望む人に向けられる
19　彼らの魂を死から助け出し‖　飢饉のとき、彼らを生き長らえさせるために
20　私たちの魂は主を待つ‖　この方こそ、我らの助け、我らの盾
21　主によって、私たちの心は喜ぶ‖　まことに、私たちは聖なる御名を頼みとする
22　主よ、あなたの慈しみが私たちの上にありますように‖　私たちはあなたを待ち望みます

使徒書　ヘブライへの手紙１１章１－３、８－１６節

11:1　信仰とは、望んでいる事柄の実質であって、見えないものを確証するものです。2　昔の人たちは信仰のゆえに称賛されました。3　信仰によって、私たちは、この世界が神の言葉によって造られ、従って、見えるものは目に見えるものからできたのではないことを悟ります。

8　信仰によって、アブラハムは、自分が受け継ぐことになる土地に出て行くように召されたとき、これに従い、行く先を知らずに出て行きました。9　信仰によって、アブラハムは、他国人として約束の地に寄留し、同じ約束を共に受け継ぐイサク、ヤコブと共に幕屋に住みました。10　アブラハムは、堅固な土台の上に建てられた都を待ち望んでいたからです。その都を設計し、建設されたのは、神です。11　信仰によって、不妊の女サラも、年老いていたのに子をもうける力を得ました。約束してくださった方が真実な方であると、信じたからです。12　それで、死んだも同然の一人の人から、空の星のように、また海辺の数えきれない砂のように多くの子孫が生まれたのです。13　この人たちは皆、信仰を抱いて死にました。約束のものは手にしませんでしたが、はるかにそれを見て喜びの声を上げ、自分たちが地上ではよそ者であり、滞在者であることを告白したのです。14　彼らはこのように言うことで、自分の故郷を求めていることを表明しているのです。15　もし出て来た故郷のことを思っていたのなら、帰る機会はあったでしょう。16　ところが実際は、彼らはさらにまさった故郷、すなわち天の故郷にあこがれていたのです。だから、神は彼らの神と呼ばれることを恥となさいません。事実、神は、彼らのために都を用意しておられたのです。

福音書　ルカによる福音書１２章３２－４０節

12:32　「小さな群れよ、恐れるな。あなたがたの父は喜んで神の国をくださる。33　自分の財産を売って施しなさい。古びることのない財布を作り、尽きることのない宝を天に積みなさい。そこは、盗人も近寄らず、虫も食い荒らさない。34　あなたがたの宝のあるところに、あなたがたの心もあるのだ。」

35　「腰に帯を締め、灯をともしていなさい。36　主人が婚礼から帰って来て戸を叩いたら、すぐに開けようと待っている人のようにしていなさい。37　主人が帰って来たとき、目を覚ましているのを見られる僕たちは幸いだ。よく言っておく。主人は帯を締めて、その僕たちを食事の席に着かせ、そばに来て給仕をしてくれる。38　主人が真夜中に帰っても、夜明けに帰っても、目を覚ましているのを見られる僕たちは幸いだ。39　このことをわきまえていなさい。家の主人は、盗人がいつやって来るかを知っていたら、みすみす自分の家に忍

び込ませたりはしないだろう。40　あなたがたも用意していなさい。人の子は思いがけない時に来るからである。」